

初歩から始めるJavaプログラマー実践科

Society 5.0やDXを見据え、これからの企業の求める人材としての知識・スキルを身につけるため、コンピュータの基礎知識からプログラム言語Javaを利用したプログラミング、システム開発演習などを行い、IT人材としての基礎スキルを身につける訓練です。

◇訓練概要◇

訓練期間	令和4年10月19日(水) ~ 令和5年2月17日(金)	訓練日数 76日 土日祝日、年末年始(12/28~1/4)は休み
訓練時間	9時50分 ~ 16時20分 (9時35分より朝礼を行いますので、それまでに出席をお願いします。16時20分~16時35分は当番制にて清掃を行います。)	
訓練対象者の条件	パソコンで文字入力ができる方	
訓練定員	14 名 (受講申込者が定員の半数に満たない場合は、訓練を中止する場合があります。)	

◇募集要項◇

募集期間	令和4年8月23日(火) ~ 令和4年10月5日(水) 正午		
選考日	令和4年10月7日(金)		
選考方法	面接試験	選考試験に持参するもの	筆記用具
選考結果通知日	令和4年10月11日(火)		
応募方法	原則、令和4年10月5日(水)正午までに、住所地を管轄するハローワークにお申し込みください。		
選考会場	日本海情報ビジネス専門学校(〒683-0064 鳥取県米子市道笑町二丁目227番地2)		

訓練実施施設名	日本海情報ビジネス専門学校		
訓練実施施設の所在地	〒683-0064 鳥取県米子市道笑町二丁目227番地2		
電話番号 (問い合わせ先)	0859-22-2111	問い合わせ担当者	事務局主任 飯塚
駐車場の有無、 台数及び料金	無 近隣の有料駐車場を案内 (月額5,000円~5,500円)	最寄り駅等	JR山陰本線 米子駅(徒歩3分)
駐輪場の有無、 台数及び料金	有 無料駐輪場あり		

訓練施設PR欄

初心者も無理なく学べる

アプリケーション開発言語で需要が多いJava言語からサーバー上で稼働するWebアプリケーション開発を実習ベースで学習します。

開発現場を経験した講師が熱意をもって授業を行います。

就職支援

応募書類の作成指導、および面接指導を専門の担当者が丁寧に行います。



訓練カリキュラム

訓練目標		Javaプログラミング技法を身につけ、業務に必要なデータベースサーバーの構築やソフトウェア開発ができる人材。	
訓練概要		コンピュータの基礎知識とアルゴリズムを学び、プログラム言語としてオブジェクト指向型言語であるJavaの習得と基本的データベース構築技術を身につける。	
		科目	科目の内容
学科	安全衛生	VDT作業と安全衛生	1時間
	ITリテラシ基礎概論	ハードウェアとソフトウェアの基礎知識、情報の表現と演算とデータ構造、システムの信頼性と情報セキュリティ、ネットワークの基本とTCP/IP、システム開発技術、データベース、SQL、アルゴリズム	66時間
	就職支援	ジョブ・カード作成支援、面接指導、応募書類の作成支援	12時間
実践内容	ドキュメント管理ツール実習	システム開発ドキュメントの取り扱い(Word, Excel)	24時間
	Javaプログラミング実習	Javaプログラミング基礎、オブジェクト指向、JDK使用コンパイル、Eclipseのセットアップと設定、デバック作業	78時間
	Webプログラミング実習	HTML5、CSS3の基礎、CSSフレームワーク、JavaScriptの基礎、データベース、サーバレット、JSPを使ったサーバサイドプログラミングでのWebアプリケーション作成	84時間
	データベースプログラミング実習	MYSQLの導入、SQL言語でのデータ操作、トランザクション処理、データベース設計	45時間
	ソフトウェア開発実習	ソフトウェアの設計手法、設計書類作成	15時間
	アプリケーション企画実習	チームによるソフトウェアの企画・設計、プロジェクト管理ツールでの情報共有、仕様の分析、要件定義、基本設計、詳細設計、アプリケーション詳細設計書作成	42時間
	アプリケーション制作演習	チームによるソフトウェアの制作、企画実習にて作成の企画書使用、プログラミングとテスト、評価	75時間
	職業人講話	ICTの実践について	6時間
	合計		448時間
取得を目標とする資格(任意受験)	<ul style="list-style-type: none"> ・Javaプログラミング能力認定試験 3級 (株式会社サーティファイ) ・Oracle Certified Java Programmer, Silver (Oracle社) 		

★本コースはITSSレベル1の資格取得を目指すコースです。

◆受講者の負担する費用

・教科書代として11,396円(税込み)が必要です。(任意の資格取得に対する検定料は含まれていません。)

◆新型コロナウイルス感染症の防止対策

新型コロナウイルス感染症の防止対策として以下の取組を行っています。

・マスク着用の周知徹底 ・体温測定、体調管理の周知徹底 ・消毒液完備 ・教室内の常時換気 ・受講生間のパーティション設置